

オランダ

2021年10月21日

海外調査部・アムステルダム事務所

2020年の貿易は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による生産活動の縮小のほか、原油や天然ガスの価格下落も加わり、輸出が前年比6.3%減、輸入が7.6%減となり、ともに大幅に減少した。外国直接投資は、対内、対外ともに大幅な引き揚げ超過となった。対日貿易では、通信・録音機器などが牽引し、輸出が5.4%増で堅調に伸びた一方、輸入は8.5%減となった。日本企業による投資は法人開設や販社買収の動きがみられた。

■輸出入ともに大幅減、貿易黒字が拡大

2020年の貿易は、輸出が前年比6.3%減の4,828億3,600万ユーロ、輸入が7.6%減の4,249億5,200万ユーロとなり、ともに大幅に減少した。貿易黒字は578億8,400万ユーロとなり、前年から25億1,300万ユーロ拡大した。輸出の45.3%を占める再輸出は4.5%減の2,189億5,400万ユーロ、54.7%を占めるオランダ産品の輸出額は7.8%減の2,638億8,200万ユーロとなった。再輸出の割合が高かった品目は、雑製品が66.8%で、次いで機械類・輸送用機器が55.2%であった。再輸出の割合を地域別にみると、EUが51.9%と5割を超え、中でもチェコの64.2%、ポーランドの57.7%など中・東欧が多かった。EU域外ではオセアニアの40.3%、米州の32.8%、アジアの27.7%が続いた。

輸出を品目別（総額ベース）にみると、最大の輸出品目である機械類・輸送用機器（構成比30.5%）が前年比3.6%減だった。そのうち、道路用車両（3.9%）が15.1%減と大きく落ち込んだことが響いた。次に輸出額が大きい化学製品（18.4%）は、医薬品（6.4%）が11.0%増と前年に引き続き好調で、化学物質・製品その他（2.9%）も15.7%増と大幅に伸びたが、有機化学品（3.0%）の10.8%減をはじめ、その他の品目で軒並み落ち込んだため、1.6%増にとどまった。そのほか、鉱物性燃料・潤滑油・その他（9.2%）は原油や天然ガスの価格下落を受けて34.4%減となり、輸出額全体を押し下げた。

輸出を国・地域別にみると、全体の6割強を占めるEU（構成比62.6%）は前年比5.4%減となった。最大の輸出先であるドイツ（22.1%）は6.8%減と縮小した。鉱物性燃料・潤滑油・その他（10.9%）の38.7%減が響いた。そのほか、ベルギー（10.2%）の4.9%減、フランス（7.7%）の7.6%減など、西欧への輸出は軒並み減少となった。一方、ポーランド（2.9%）が5.3%増と増加した。

EU域外の近隣国に目を向けると、スイス（1.6%）が前年比9.6%増と好調だったが、英国（7.2%）は12.2%減と大幅に減少した。英国は2020年1月31日に正式にEUを離脱したが、2020年末まで移行期間が継続したため、貿易面でのEU離脱の影響は大きくないとみられる。むしろ、例年、対英輸出の1割程度を占めていた鉱物性燃料・潤滑油・その他（6.0%）が49.0%減と半減した影響と、新型コロナウイルス感染拡大の影響で生産活動が縮小したことから最大の輸出品目である機械類・輸送用機器

(30.0%) が13.7%減と不振だったことが大きい。欧州以外では、米国 (5.0%) が前年の15.5%増から8.8%減と減少に転じた。英国同様、機械類・輸送用機器 (37.3%) が13.0%減、鉱物性燃料・潤滑油・その他 (9.1%) が49.3%減と縮小したものの、医薬品 (10.9%) が2.1倍と大幅に増加した。アジア大洋州 (9.6%) は0.3%減とほぼ横ばいで、中国 (2.9%) が10.4%増、韓国 (1.3%) が48.6%増と好調だったが、機械類・輸送用機器が大幅減となったASEAN

表1 オランダの主要品目別輸出入 (再輸出を含む総額ベース)

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	152,937	147,441	30.5	△ 3.6	150,041	144,039	33.9	△ 4.0
化学製品	87,492	88,908	18.4	1.6	58,568	59,477	14.0	1.6
食料品および動物	66,741	66,284	13.7	△ 0.7	43,698	43,802	10.3	0.2
雑製品	63,763	61,599	12.8	△ 3.4	63,317	60,750	14.3	△ 4.1
鉱物性燃料・潤滑油・その他	67,665	44,381	9.2	△ 34.4	75,415	48,273	11.4	△ 36.0
工業製品 (原料別製品)	41,866	39,307	8.1	△ 6.1	43,680	41,961	9.9	△ 3.9
非食品原材料	22,714	22,748	4.7	0.1	16,082	16,101	3.8	0.1
飲料およびたばこ	5,897	5,781	1.2	△ 2.0	4,170	4,201	1.0	0.7
動植物性油脂	3,738	4,137	0.9	10.7	4,629	5,698	1.3	23.1
合計 (その他含む)	515,264	482,836	100.0	△ 6.3	459,893	424,952	100.0	△ 7.6

(注) EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告に基づく。
(出所) オランダ中央統計局 (CBS)

表2 オランダの主要国・地域別輸出入 (再輸出を含む総額ベース)

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	319,716	302,373	62.6	△ 5.4	217,932	206,920	48.7	△ 5.1
ドイツ	114,349	106,563	22.1	△ 6.8	78,521	74,921	17.6	△ 4.6
ベルギー	52,061	49,487	10.2	△ 4.9	45,344	41,528	9.8	△ 8.4
フランス	40,249	37,198	7.7	△ 7.6	17,030	14,914	3.5	△ 12.4
イタリア	20,467	19,271	4.0	△ 5.8	11,765	11,585	2.7	△ 1.5
スペイン	15,640	14,451	3.0	△ 7.6	8,927	8,421	2.0	△ 5.7
ポーランド	13,506	14,228	2.9	5.3	9,064	8,980	2.1	△ 0.9
英国	39,849	34,999	7.2	△ 12.2	24,671	20,113	4.7	△ 18.5
スイス	6,961	7,629	1.6	9.6	2,978	3,311	0.8	11.2
ロシア	6,448	6,045	1.3	△ 6.3	15,637	9,506	2.2	△ 39.2
ノルウェー	4,875	4,689	1.0	△ 3.8	12,363	8,485	2.0	△ 31.4
アジア大洋州	46,402	46,259	9.6	△ 0.3	96,733	96,185	22.6	△ 0.6
中国	12,790	14,119	2.9	10.4	43,026	44,631	10.5	3.7
ASEAN	8,331	6,983	1.4	△ 16.2	25,692	25,152	5.9	△ 2.1
韓国	4,376	6,502	1.3	48.6	3,657	4,130	1.0	12.9
台湾	7,968	6,427	1.3	△ 19.3	3,981	4,645	1.1	16.7
日本	4,530	4,776	1.0	5.4	8,102	7,411	1.7	△ 8.5
北米	33,485	29,692	6.1	△ 11.3	41,213	38,199	9.0	△ 7.3
米国	26,620	24,274	5.0	△ 8.8	37,286	34,304	8.1	△ 8.0
アフリカ	16,743	14,999	3.1	△ 10.4	12,196	10,900	2.6	△ 10.6
合計 (その他含む)	515,264	482,836	100.0	△ 6.3	459,893	424,952	100.0	△ 7.6

(注) ① EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告に基づく。
② アジア・大洋州は、ASEAN + 6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港、台湾を加えた合計値。
北米は米国、カナダ、メキシコの3カ国の合計値。
(出所) オランダ中央統計局 (CBS)

(1.4%) と台湾 (1.3%) がそれぞれ16.2%減、19.3%減となったことが影響した。

輸入を品目別にみると、最大の輸入品目である機械類・輸送用機器 (構成比33.9%) は前年比4.0%減だった。輸出同様に道路用車両 (5.3%) の14.0%減が響いた。次に輸入額が大きい雑製品 (14.3%) は、衣類 (3.0%) の8.4%減など、5.9%増となった家具 (1.2%) を除く品目で軒並み減少したため、4.1%減となった。一方、化学製品 (14.0%) は医薬品 (4.6%) が13.8%増と好調だったが、有機化学製品 (2.8%) が13.8%減と落ち込んだため、1.6%増にとどまった。鉱物性燃料・潤滑油・その他 (11.4%) は輸出と同様に36.0%減と大幅に減少した。

輸入を国・地域別にみると、全体の5割近くを占めるEU (構成比48.7%) が前年比5.1%減だった。最大の輸入元であるドイツ (17.6%) が4.6%減、続くベルギー (9.8%) も8.4%減となり、その他のEU加盟国からも軒並み減少した。EU域外では、中国 (10.5%) が3.7%増で最大の輸入相手国となった。電気機械・機器その他 (13.0%) の10.3%増、織物用繊維の糸・織物 (3.2%) の89.7%増が牽引した。米国 (8.1%) は前年の11.7%増から8.0%減と減少に転じた。続く英国 (4.7%) は18.5%減となった。同国からの最大の輸入品目である鉱物性燃料・潤滑油・その他 (31.1%) の34.6%減が響いた。同様に鉱物性燃料・潤滑油・その他の比率が高いロシア (2.2%)、ノルウェー (2.0%) はそれぞれ

れ39.2%減、31.4%減と大幅に落ち込んだ。

2021年1～5月の貿易は、輸出が前年同期比15.8%増の2,264億2,500万ユーロ、輸入が15.6%増の2,002億3,100万ユーロ、再輸出が11.1%増の977億100万ユーロとなった。新型コロナ以前の2019年1～5月と比べても輸出は5.2%増、輸入は3.7%増で、輸出入ともコロナ前の水準を上回った。輸出では機械類・輸送用機器が前年同期比16.7%増、化学製品が14.2%増と好調だった。

■直接投資は対内・対外ともに大幅な引き揚げ超過

オランダ国立銀行によると、2020年の対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は1,417億9,500万ユーロの引き揚げ超過となった。ルクセンブルクの629億400万ユーロ、アイルランドの314億2,100万ユーロの引き揚げ超過など

表3 オランダの国・地域別対内・対外直接投資
〈国際収支ベース、ネット、フロー〉

(単位：100万ユーロ)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2019年	2020年	2019年	2020年
	金額	金額	金額	金額
EU	18,874	△ 112,437	62,087	△ 39,273
ドイツ	40,093	4,654	16,348	4,122
デンマーク	28	1,824	314	960
キプロス	1,014	1,646	△ 2,617	△ 4,184
チェコ	385	1,578	232	1,528
スペイン	3,547	△ 4,462	15,470	△ 14,999
ベルギー	15,215	△ 7,957	△ 17,350	△ 5,118
フランス	11,755	△ 12,425	10,466	13,791
アイルランド	△ 53,133	△ 31,421	46,924	8,335
ルクセンブルク	△ 24,539	△ 62,904	△ 14,341	△ 27,062
英国	8,408	61,687	55,486	△ 12,687
香港	36,731	14,328	11,128	△ 676
カナダ	△ 162,117	9,839	△ 86,051	△ 14,694
ロシア	1,940	6,880	6,577	4,243
中国	745	794	5,355	1,220
インド	308	△ 471	5,998	31
ノルウェー	1,914	△ 1,103	1,047	△ 248
日本	7,072	△ 1,828	14,779	△ 7,836
ブラジル	2,811	△ 6,948	9,573	△ 1,800
スイス	7,288	△ 35,279	6,491	△ 24,661
米国	25,668	△ 62,363	△ 58,908	△ 18,937
合計 (その他含む)	31,900	△ 141,795	69,639	△ 171,900

[出所] オランダ国立銀行 (DNB)

表4 オランダの主な対内直接投資案件 (2020年～2021年4月)

<M&A以外>

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
通信	ボダフォン	英国	2020年4月	非公表	オランダにおける5Gサービスエリアを、7月下旬までに全土に拡大すると発表。
化学	サンファイア、ネステ、エンジー、ホールワース、CEA	ドイツ、フィンランド、フランス、ルクセンブルク	2020年3月	非公表	EUの研究開発基金「ホライズン2020」から資金を得て5社・機関の共同プロジェクト「MULTIPLY」を開始しており、ロッテルダムに高効率グリーン水素製造プラントを建設すると発表。
化学	エア・リキード	フランス	2020年7月	1億2,500万ユーロ	ムールデイク港にエネルギー貯蔵システムを導入した酸素製造プラントを建設すると発表。2022年に操業開始予定。
ITサービス	エーサイト・ソリューションズ	英国	2020年12月	非公表	アムステルダムに本社としてはEU域内初のデータセンターを開設したと発表。EU域内の情報をEU域内で管理することが可能に。
化学	アイテロ	英国	2021年1月	2,500万ユーロ	シッターヘレーンのプライトランド・ケメロットの敷地にプラスチック廃棄物をリサイクルするための工場を建設すると発表。同社の特許技術を活用。2023年に稼働予定。

<M&A>

業種	被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
ITサービス	インターシオン	デジタル・リアリティ	米国		2020年3月	84億ドル	データセンターの運営ビジネスを行う米欧大手の合併が、株式交換による公開買付けにより完了。
TV番組制作	エンデモル・シャイン	パニシェイ	フランス		2020年7月	非公表	フランスのTV番組制作大手パニシェイは同業大手エンデモル・シャインの買収を完了。
素材	ロイヤルDSM	コベストロ	ドイツ		2021年4月	16億1,000万ユーロ	コベストロはDSMのレジンス & ファンクショナルマテリアルズ事業 (RFM) の買収を完了。この取引により、同社はコーティング樹脂の分野で世界最大手のサプライヤーとなった。
石油掘削	ベトロブラ・オイル&ガス	アフリカオイル	カナダ		2020年1月	非公表	アフリカオイルはナイジェリアの石油掘削権を得るため、ベトロブラ・オイル&ガスの株式の50%を取得したと発表。
銀行	NIBC	ブラックストーン	米国		2020年12月	9億9,000万ユーロ	投資会社ブラックストーンはオランダの銀行NIBCの買収を完了。NIBCの発行済み株式を1株あたり7ユーロで現金で買い取った。

[出所] 各社発表および報道などから作成

が影響し、EU全体で1,124億3,700万ユーロの大幅な引き揚げ超過を記録した。一方、英国からの投資が616億8,700万ユーロと最も大きく、これは英蘭双方に本社をもっていたユニリーバがオランダ本社株式を買収するかたちで英国本社に統合した投資額が含まれているためとみられる。また、米国は623億6,300万ユーロの大幅な引き揚げ超過に転じた。

対内直接投資案件では、米国のデータセンター運営大手デジタル・リアリティが2020年3月、同業大手インターシオンの84億ドルでの買収を完了した。M&A以外では、フランスの化学大手エア・リキードが2020年7月に酸素製造プラントの建設計画に1億2,500万ユーロの投資を発表するなど、化学業界においてグリーン化を進める動きが複数みられた。

オランダ国立銀行によると、2020年の対外直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）も1,719億ユーロの引き揚げ超過となった。ルクセンブルクの270億6,200万ユーロの引き揚げ超過、スイスの246億6,100万ユーロの引き揚げ超過、米国の189億3,700万ユーロの引き揚げ超過が目立った一方、フランスが137億9,100万ユーロを記録した。

対外直接投資案件では、フードデリバリーのテイクアウェイドットコムが2020年4月、英国同業のジャストイートを買収・合併した。同社はロックダウン下でも好調さを維持し、6月にはさらに米国同業のクラブハブの買収を発表、2021年6月に73億ドルで買収を完了した。M&A以外では、ロイヤル・ダッチ・シェルが2020年4月、100億ドルを投入し、中国石油天然ガス集団（CNPC）との合弁会社アロー・エナジーを通じて、オーストラリアの天然ガス油田開発を開始すると発表した。

表5 オランダの主な対外直接投資案件（2020年）

＜M&A以外＞							
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要		
エネルギー	ロイヤル・ダッチ・シェル	オーストラリア	2020年4月	100億ドル	中国石油天然ガス集団（CNPC）との合弁会社アロー・エナジーを通じて、クイーンズランド州のシュラット・ガス・プロジェクト（SGP）の第1フェーズを2020年に開始すると発表。最大1,000人の新規雇用を見込む。同州にとって2011年以降最大のガスプロジェクト。		
飲料	ハイネケン	ブラジル	2020年12月	18億レアル	ミナスジェライス州にビール醸造工場を建設すると発表。350人を雇用予定。		
化学	トタルコーピオンPLA	フランス	2020年9月	2億ユーロ	フランスの石油大手タルとオランダの乳酸メーカーのコーピオンが折半出資で設立した合弁企業トタルコーピオンPLAは、サトウキビやトモロコシなどの再生可能な原料からPLA（ポリ乳酸）樹脂を製造する工場を建設すると発表。		
化学	コーピオン	タイ	2020年1月	1億9,000万ドル	石膏を使わない技術で乳酸を製造する工場をタイのラヨーン県の敷地内に増設すると発表。		
半導体	NXPセミコンダクターズ	米国	2020年9月	非公表	アリゾナ州チャンドラーに5Gに用いられる6インチウエハーの窒化ガリウム（GaN）工場を開設、操業を開始したと発表。		
＜M&A＞							
買収企業 企業名	業種	被買収企業（事業） 企業名		国籍	時期	投資額	概要
テイクアウェイドットコム	フードデリバリー	ジャストイート		英国	2020年4月	62億ポンド	オンライン食品デリバリー欧州大手テイクアウェイドットコムは英同業のジャストイートの買収・合併を完了。新社名は「ジャスト・イート・テイクアウェイ・ドットコム」。2021年6月には米同業のクラブハブの100%株式の買収（73億ドル）を完了。
バルジョイントコ	金融	バルゲサ		スイス	2020年7月	非公表	カナダの金融持株会社パワーコーポレーションオブカナダのグループ内再編を目的に、同グループ傘下の法人同士の合併が完了。
ATCヘストン	REIT	イートンタワーズ		英国	2020年1月	18億5,000万ドル	米の不動産投資信託（REIT）大手アメリカンタワーズのオランダ法人は英同業のイートンタワーズの買収を完了。この買収により、アフリカの約5,700の通信インフラ施設を新たに所有することに。
シグニファイ	工業	クーバーライティングソリューションズ		米国	2020年3月	14億ドル	照明器具製造販売大手シグニファイは米同業のクーバーライティングソリューションズの買収を完了。
ロイヤルDSM	食品、飼料用添加物	エルバー・グループ		オーストリア	2020年10月	9億8,000万ユーロ	化学肥料・ライフサイエンス大手DSMは食品・飼料用添加物大手エルバーグループ（2社）の買収を完了。

[出所] 各社発表および報道などから作成

■対日輸出増加、貿易赤字が縮小

2020年の対日輸出は前年比5.4%増の47億7,600万ユーロ、輸入は8.5%減の74億1,100万ユーロだった。オランダ産品の輸出は3.7%減の27億5,200万ユーロ、再輸出は21.0%増の20億2,400万ユーロとなった。貿易赤字は前年から9億3,700万ユーロ縮小し、26億3,500万ユーロだった。

対日輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械類・輸送用機器（構成比40.2%）が前年比12.4%増となった。そのうち、通信・録音機器（10.8%）の71.1%増が牽引した。次に輸出額が大きい雑製品（19.7%）は、専門・光学・医療用・精密機器類（12.4%）が10.0%増と伸長し、9.7%増だった。そのほか、工業製品（原料別製品）（5.2%）が41.2%増と拡大した。

対日輸入を品目別にみると、食料品および動物を除く全ての品目で前年から減少した。特に最大品目である機械類・輸送用機器（63.4%）が11.4%減と縮小した。中でも、事務用機器・計算機（16.9%）が17.8%減、特定産業用特殊機械類（11.0%）が17.3%減と落ち込んだことが響いた。

オランダ国立銀行によると、2020年の日本からの直接投資受入額は18億2,800万ユーロの引き揚げ超過、日本への対外直接投資額も78億3,600万ユーロの引き揚げ超過となった。

表6 オランダの対日主要品目別輸出入（再輸出を含む総額ベース）〈通関ベース〉
(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年		2020年		2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	1,707	1,919	40.2	12.4	5,297	4,695	63.4	△ 11.4
雑製品	860	943	19.7	9.7	1,240	1,226	16.5	△ 1.1
化学製品	823	816	17.1	△ 0.9	946	914	12.3	△ 3.4
食料品および動物	592	606	12.7	2.4	61	63	0.9	3.3
工業製品（原料別製品）	177	250	5.2	41.2	405	354	4.8	△ 12.6
非食品原材料	211	153	3.2	△ 27.5	93	85	1.1	△ 8.6
飲料およびたばこ	133	64	1.3	△ 51.9	31	30	0.4	△ 3.2
合計（その他含む）	4,530	4,776	100.0	5.4	8,102	7,411	100.0	△ 8.5

〔出所〕オランダ中央統計局（CBS）

日本企業による対内直接投資案件としては、医療機器メーカーのテルモが2020年7月にクイレム・メディカル（カテーテル肝臓がん治療用ビーズを製造）を4,500万ドルで買収した事例を始め、テラドローン（産業用ドローンサービス）による8月の同業スカイツールズの株式80%取得、三井物産による11月のトマト種子会社トタム・シーズの株式75%取得など、前年に引き続き活発だった。また、日本通運と郵船ロジスティクスは8月、それぞれ倉庫を増設すると発表した。そのほか、オランダを欧州統括拠点と位置付け、法人開設や販社買収の動きが続いた。朝日インテック（医療用ワイヤー製造）が2月、アムステルダムに販売拠点を開設したほか、画像処理検査用LED照明メーカーのシーシーエスが12月にヒルバーサムに欧州統括拠点を設置した。また、オークマ（工作機械）が5月に販売会社ヘルダーブロムを買収、続いて大和ハウス工業が12月にダイワハウスヨーロッパを通じて住宅建設・販売会社フレックスビルドホールディングを買収した。

オランダからの対日投資案件としては、デジタルバンキングプラットフォームのバックベースが2020年11月、東京都に日本法人を設立、ロボット技術を使って多品種少量生産を行うクラネンドンクが4月、岡山に2カ所目の事業所を開設した。日本の再生可能エネルギー市場に参入した企業として、風力発電のIXウィンドが5月、東京都にオフィスを設立した。太陽光発電のソネディックスは6月、岩手県で32.9メガワット規模の大規模太陽光発電施設の操業を開始したほか、山口県（14メガワット）、鳥根県（5.5メガワット）、三重県（2.3メガワット）でも太陽光発電所を取得した。

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：1,741万人（2020年）			
②面積：4万1,543km ²			
③1人当たりGDP：5万2,248米ドル （2020年、推計値）			
④実質GDP成長率（%）	2.4	2.0	△ 3.8
⑤消費者物価上昇率（%）	1.7	2.6	1.3
⑥失業率（%）	3.8	3.4	3.8
⑦貿易収支（100万ユーロ）	71,611	60,104	64,733
⑧経常収支（100万ユーロ）	83,914	76,189	55,831
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	13,195	13,331	16,734
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	3,787,744	3,718,846	3,550,704
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.8468	0.8933	0.8755

〔注〕 ⑥：15～75歳、⑦：国際収支ベース（財のみ）
 〔出所〕 ①②④⑤⑥：オランダ中央統計局（CBS）、③⑨⑩：IMF、⑦⑧⑩：オランダ国立銀行（DNB）

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp